

2019

M4 カリキュラム

社会医学実習シラバス -実習ガイド-

2019 年 6 月 17 日～6 月 28 日

2019 年度 M4（第 43 回生）

筑波大学 医学群 医学類

目 次

社会医学実習	1
1. 潮来保健所	7
2. 古河保健所	9
3. 筑西保健所	11
4. 土浦保健所	13
5. 日立保健所	15
6. 水戸保健所	17
7. 竜ヶ崎保健所	19
8. 茨城県精神保健福祉センター	21
9. 精神保健福祉・児童福祉機関	23
10. 茨城産業保健総合支援センター	27
11. 茨城労働局	29
12. 東京検疫所	31
13. グローバルヘルス	33
14. 臨床研究の実践と生物統計	35
15. 分子遺伝疫学実習	37
16. 環境医学実習	39
2019 年度 M4 社会医学実習担当教員連絡先	41

社会医学実習

社会医学実習は施設等実習と大学内実習から構成される。

1. コースの概要（社会医学とは）

社会医学とは、社会との接点により重きをおいた医学の学問領域の総称名であり、その対象は社会で生活している（していた）人である。本実習は、本学医学医療系の社会医学関連分野（疫学、生物統計学、保健医療政策学、医療経済学、ヘルスサービスリサーチ、福祉医療学、環境医学、環境保健学、精神保健学、社会健康医学、分子遺伝疫学など）の教員が担当する。

社会医学実習の位置づけ

社会医学が医学教育コアカリキュラムにおいてカバーしている領域は以下の通りである。社会医学実習はこれらの領域において、社会との接点の実際を実習し、理解を深めるものと位置づける。

A:基本事項	D-3 物理・化学因子による疾患
A-4 課題探求・解決と論理的思考	D-4 成長と発達
(1) 課題探求・解決能力	D-5 加齢と老化
(2) 論理的思考と表現能力	D-6 人の死
(3) 生涯学習への準備	D-7 死と法
(4) 医療の評価	F:医学・医療と社会
B:医学一般	(1) 社会・環境と健康
B-1 個体の構成と機能	(2) 疫学と予防医学
(6) 遺伝と遺伝子	(3) 生活習慣と疾病
B-3 原因と病態	(4) 保健、医療、福祉と介護の制度
(1) 遺伝子異常と疾患・発生発達異常	(5) 診療情報
	(6) 臨床研究と医療

2. 筑波大学卒業時コンピテンシーとの関連

すべてのコンピテンシーには関連するが、特に以下の項目を重視する。

・プロフェッショナリズム

利益相反を正しく理解し、社会規範を遵守する。学術活動/診療の場において、研究倫理/医療倫理の原則に基づいて行動できる。(レベル3)

社会全体の医療ニーズと医療資源の公平な分配のために、医療者が心がけるべきことを列挙し、医療の質の向上に努めることができる。(レベル3)

・医療の社会性

実際の現場で、集団レベルの視点から問題点を抽出し、科学的に分析し、問題解決に取り組むことができる。(レベル3)

実際の現場で、保健・医療・福祉に関する関連法規、制度、組織、専門職、医療経済を意識して行動できる。(レベル3)

実際の現場で、地域のニーズを意識し、地域の特性を活用するよう意識して行動できる。(レベル3)
指導の下で個人・集団を対象とした予防活動を一部実践できる。(レベル3)

3. 一般学習目標（GIO）

地域における公衆衛生活動に参加し、疫学的アプローチ・環境調査・食品衛生・健康管理および保健・医療・福祉の連携の実際及び公衆衛生行政における医師の役割等を学ぶ。また、実験を通して社会医学に関する具体的な測定法などを学ぶ。

4. 学習行動目標（SB0s）

- ・ 公衆衛生活動の目的と方法およびその過程を理解するとともに、今後の展望を検討する。
- ・ 保健・医療・福祉の連携において不可欠な地域の多職種・関係機関の連携ならびに各々の業務を理解する。

環境問題・化学物質による汚染問題、ヒトゲノム多様性と疾患の遺伝素因を理解することにより社会をより健康に保つ基礎的素養を身につける。

5. キーワード

健康と疾病、保健医療制度と医療資源、医療経済、地域保健、医の倫理、国際保健、人口・保健統計、疫学の基礎、臨床疫学、生物統計学、感染症対策、母子保健、学校保健、成人・老人保健、地域医療・介護、健康づくり、精神保健・福祉、食品保健、社会保障・社会福祉、環境保全と公害、日常生活の環境、産業保健、医事・薬事関係法規、多因子疾患の遺伝因子

6. 実習時期・実習施設・担当教員

2019年6月17日～6月28日の2週間(土日を除いた10日間、ただし実習施設等の状況等により異なって設定される場合もある)で実施する。実習施設、および担当教員は下表の通りである。

実習期間：6月17日～6月28日

	実習先／実習名	担当教員
1	潮来保健所	斎藤環
2	古河保健所	市川政雄、田中理恵
3	筑西保健所	山岸良匡
4	土浦保健所	柳久子
5	日立保健所	田宮菜奈子、岩上将夫
6	水戸保健所	近藤正英、大久保麗子
7	竜ヶ崎保健所	堀愛
8	茨城県精神保健福祉センター	大谷保和
9	精神保健福祉・児童福祉機関	森田展彰
10	茨城産業保健総合支援センター	笹原信一郎、道喜将太郎、堀大介
11	茨城労働局	松崎一葉、大井雄一
12	東京検疫所	大久保麗子、近藤正英
13	グローバルヘルス	我妻ゆき子、福重瑞穂
14	臨床研究の実践と生物統計	五所正彦
15	分子遺伝疫学実習	土屋尚之、古川宏、川崎綾、村谷匡史
16	環境医学実習	熊谷嘉人、新開泰弘、蕨栄治

【初日の集合場所・時間は、各グループの代表者が担当教員に連絡をとり、確認すること。】

注：実習施設ごとに特徴ある取組について学習できるよう配慮されているので、社会医学実習ガイドの学習目標や行動目標をよく確認し、積極的に実習に参加するとともに、個人レポートのテーマについてはできるだけ前もって考えておき、実習開始時に担当教員に相談できるようにするのが望ましい。

7. 実習レポート

- ・ 下記の執筆要領と別紙の様式に従って、グループ全体のレポート（グループ・レポート）と各自のレポート（個人レポート）を作成する。いずれも担当教員に提出し、内容の確認と指導を受けること。
- ・ グループ・レポートは担当教員が実習施設の担当者へ送付し、チェックを受けるため、加筆修正の必要があるかどうかを担当教員に確認すること。
- ・ 担当教員の了解が得られたら、個人レポートは各自が manaba へ提出する。グループ・レポートはグループの代表者が自身の個人レポートとともに manaba へ提出する。
- ・ manaba への提出期限は、原則として実習終了後 3 週間以内とするが、担当教員が別途指示するのでそれに従うこと。manaba 提出最終確認日は、**2019 年 8 月 30 日(金)**とする。

グループ・レポート

分量：5～7 ページ

内容：保健所名（学内実習の場合は実習の名称）、実習期間、担当教員・学生氏名、実習日程、実習概要を記載する。実習概要は、各実習の目的を 3～5 行程度にまとめ、内容を 10～20 行程度にまとめて記載する。（たとえば、感染症診査協議会、3 歳児健診、食品工場、浄水場で実習した場合、実習概要は 4 つ記載することになる。）最後に、実習先でお世話になった方々に対する謝辞を記載する。

個人レポート

分量：2 ページ（図表を含む）

内容：学生各自が実習で経験したこと、調べたこと、考えたことをまとめる。グループ・レポートでは実習の内容そのものを報告するのに対して、個人レポートでは実習の内容や実習を通して見出した課題について考察を深める。課題は自由に設定してよい。ただし、グループ内で内容が重複しないよう配慮すること。

個人レポートは、緒言、方法、結果、考察、文献の順でまとめるが、必ずしも学術的なレポートを求めているわけではない。したがって、たとえば感染症診査協議会（結核部会）に関するレポートであれば、緒言に実習先の保健所管内における結核の現状を、方法に協議会に参加したことや文献検討したことを、結果に協議の内容や文献検討した内容を、考察に協議の内容や文献検討した内容を踏まえ考えた結核対策の課題などをまとめる、というようなレポートで構わない。もし協議会の参加を通して、特定のテーマ（たとえば、在日外国人に対する DOTS のあり方）に関心を寄せ、そのことについて調べたことを個別レポートにまとめたいということであれば、それでも構わない。大切なことは、個人レポートの作成を通して、医学と社会のつながりをさまざまな角度から理解することにある。

なお、文献の引用方法は下記サイトを参照のうえ、統一すること。

http://sti.jst.go.jp/sist/menu_purpose/index.html

8. 評価

レポート、実習への参加状況、実習施設による評価をもとに成績をつける。

9. 教科書・参考書

- ・ 国民衛生の動向：厚生統計協会
- ・ 国民と福祉の動向：厚生統計協会
- ・ 公衆衛生マニュアル：柳川洋，中村好一編，南山堂

グループ・レポート様式

〇〇保健所

実習期間：平成〇〇年〇月〇日～〇月〇日

担当教員：〇〇〇〇先生

学 生：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

一般目標（社会医学実習ガイドから実習施設のものを記載）

行動目標（社会医学実習ガイドから実習施設のものを記載）

実習日程（例）

平成 30 年	午前		午後	
	実習内容	担当	実習内容	担当
6/18(月)	学内オリエンテーション			筑波大学
6/19(火)	オリエンテーション 保健所事業概要の説明 (保健所内)	所長 次長 等	1歳6か月児健康診査 (つくばみらい市 谷和原保健 センター)	地域保健推進室
6/20(水)	H I V 検査	健康指導課	ポリオ予防接種 (つくば市 大穂保健センタ ー)	地域保健推進室
6/21(木)	感染症対策について 結核対策について	健康指導課 地域保健推 進室	感染症診査協議会結核部会への 参加	健康指導課
6/22(金)	精神障害者自立支援施設 (地域活動支援センター ふれんず・わかば)	地域保健推 進室	医療相談について 保健所実習のまとめ	地域保健推進室
6/25(月)	研究テーマについて、研究方法の確認後、必要となる資料の収集を行う。考察を深め、研究結果をまとめる。			筑波大学
6/26(火)	研究テーマに関するワーク(続き)、報告書作成			筑波大学
6/27(水)	研究テーマに関するワーク(続き)、報告書作成			筑波大学
6/28(木)	グループ内でのプレゼンテーション			筑波大学

実習概要〔以下に実習項目ごとに、その目的と内容を記載する〕

1. (実習項目名)

目的：3～5行程度にまとめて記載すること

実習内容：10～20行程度にまとめて記載すること

2. (実習項目名)

目的：

実習内容：

3. (実習項目名)

目的：

実習内容：

4. (実習項目名)

目的：

実習内容：

5. (実習項目名)

目的：

実習内容：

(実習項目数は実習内容により適宜設定する)

謝辞

実習先の方々に対するお礼の気持ちを 5～10 行程度にまとめて記載すること (教員に対する謝辞は不要)

個人レポート様式

[illegible]

氏名：○○○○○

緒言

[illegible]

方法

[illegible]

結果

[illegible]

考察

[illegible]

文献

[illegible]

1. 潮来保健所

【実習テーマ】 地域における保健所活動の実際

【実習期間】 2019 年 6 月 17 日（月）～6 月 28 日（金）

【担当教員】 斎藤 環

【一般目標 GIO】

保健所やその関連する施設などで公衆衛生行政・環境保健行政・地域医療・精神保健・産業医学・地域保健活動の実際を体験し、社会医学の重要性を理解すると共に、社会医学における問題解決能力を養うことを目的とする。

【行動目標 SB0s】

- ・ 一般精神保健相談や地域活動支援センターを見学し、地域保健活動における精神保健の重要性を理解する。
- ・ ひきこもり専門相談や家族教室、発達相談を見学し、ひきこもり問題を含む児童青年期の精神保健の重要性を理解する。
- ・ 潮騒ジョブトレーニングセンターの見学を通じて、薬物依存症からの回復過程を理解する。
- ・ 認知症疾患センターや地域リハビリテーションを見学することで、高齢化社会におけるコミュニティケアのあり方を学ぶ。
- ・ 健康危機管理関連の活動を見学し、被災した際の地域保健活動のあり方を学ぶ。
- ・ 企業に対する食品衛生指導業務の実際を体験しその重要性を把握する。
- ・ 神栖市の有機ヒ素中毒事件に対する行政の取り組みを学ぶことで環境行政の大切さを理解する。
- ・ 優れた地域医療を行っている医療機関を通して地域医療の重要性を体験する。

【実習項目・目的】

地域の保健活動の実際、精神保健・食品衛生行政・産業医学・地域医療の実際を体験して、それらに対する保健所及び保健所長の役割を学ぶ。

【実施日程】

平成 31 年	午前	午後
	実習内容	実習内容
6 月 17 日(月)	オリエンテーション（@筑波大学）	
6 月 18 日(火)	カリキュラム等の概要説明 公衆衛生について 潮来保健所業務概要説明	潮来保健所概要説明
6 月 19 日(水)	訪問看護ステーション実習	ひきこもり家族教室
6 月 20 日(木)	薬物アルコール依存症回復支援施設見学	
6 月 21 日(金)	保健所業務説明	特定健診等見学
6 月 24 日(月)	学内実習	茨城県衛生研究所見学
6 月 25 日(火)	発達相談準備	発達相談
6 月 26 日(水)	産業保健活動見学	
6 月 27 日(木)	地域活動支援センター見学	
6 月 28 日(金)	レポート作成（@筑波大学）	

実習日程の詳細は変更になる可能性がある。

【注意事項】

- ・実習期間中は身嗜みを良くする
- ・集合時間を厳守する
- ・筆記用具・記名票・白衣を持参

2. 古河保健所

【実習テーマ】公衆衛生行政と保健医療福祉の連携

【実習期間】2019 年 6 月 17 日（月）～6 月 28 日（金）

【担当教員】市川 政雄、田中 理恵

【一般目標 GIO】

地域における公衆衛生活動に参加し、保健所の役割と保健医療福祉の連携について理解を深める。

【行動目標 SB0s】

- ・ 公衆衛生行政ならびに保健所の役割を説明することができる。
- ・ 地域における公衆衛生活動について、その現状と課題を説明することができる。
- ・ 保健医療福祉の連携について、その現状と課題を説明することができる。

【実習項目・目的】

- ・ 古河保健所および管内の関連施設における実習・見学（実習日程を参照）
- ・ 保健医療福祉に関するフィールドワーク

【研究テーマ】

各自が実習内容に基づき設定する。

【実施日程】

	内容	場所
6月17日	オリエンテーション	学内
6月18日	保健所事業概要、所長講話 病院事務長会議・医療安全対策研修会	古河保健所
6月19日	保健所事業概要 環境要因等による健康被害への対応	古河保健所
6月20日	食品衛生管理（食品工場見学） 感染症・食中毒発生時の疫学調査（演習）	トモエ乳業 古河保健所
6月21日	社会医学分野の研究	学内
6月24日	健康危機管理対策・災害支援 防護服着脱訓練、放射線線量測定訓練	古河保健所
6月25日	小児特定疾患・難病・肝炎対策 カンファレンス	古河保健所
6月26日	レポート作成・指導	学内
6月27日	レポート作成・指導	学内
6月28日	レポート作成・指導	学内

以上は前年度の実績であり、実習内容は変更する可能性がある。実習内容については要望があれば、担当教員へ申し出ること。

【注意事項】

- ・ 実習中の服装は原則的にスーツや病院実習時の服装に準じ、名札を常時着用すること。
- ・ 本学周辺から古河保健所に電車やバスで通うのは困難なため、自家用車で通うことになる。

3. 筑西保健所・他

【実習テーマ】地域における公衆衛生活動・社会における医師の役割

【実習期間】2019年6月17日（月）～6月28日（金）

【担当教員】山岸 良匡

【一般目標 GIO】

保健所・市町村における地域保健・医療・福祉活動の全体像を把握し、地域保健・医療・福祉の連携を含む社会における医師の役割を理解する。さらに、地域における公衆衛生に関する実践活動に参加し、その方策、活動、評価方法等を体得する。保健・医療・福祉等に関わる施設を見学し、その取組みと役割を理解する。

【行動目標 SB0s】

- ・地域保健・医療・福祉における保健所の役割を理解できる。（解釈）
- ・保健所及び地域における医師の役割を理解できる。（解釈）
- ・地域保健・医療・福祉における問題点の整理ができる。（解釈）
- ・地域住民との適切なコミュニケーションができる。（態度）
- ・効果的な生活習慣病予防の方策とその評価方法を説明できる。（技能）
- ・生涯学習を継続する態度を身につける。（態度）
- ・プライバシーの保護に留意して情報を選別できる。（態度）

【実習項目・目的】（実習機関との調整により、内容は変更する場合がある）

＜学内外演習＞

- ・公衆衛生研究機関等の専門施設、市型保健所の見学
- ・社会医学に携わる医師・研究者による講話

＜保健所実習＞

- ・保健所の役割・業務
- ・管内の保健指標・生活習慣病の動向
- ・感染症診査協議会（結核部会）
- ・薬物中毒更正施設
- ・精神障害者地域活動センター
- ・HACCPに基づく品質管理
- ・介護保健施設・地域リハビリテーション
- ・地域医療機関
- ・管内市の保健事業の見学
 - 乳幼児健診
 - 精神保健デイサービス
 - 機能訓練
 - 保健・福祉・健康増進施設 他

【実施日程】（参考用）

月日	午前	午後
6/17（月）	保健所オリエンテーション	3歳児健康診査
6/18（火）	親子歯磨き教室	育児相談支援
6/19（水）	心身障害者支援センター	食品工場見学
6/20（木）	茨城ダルク	県西水道事務所
6/21（金）	所長講話	医薬品工場見学
6/24（月）	保健所の業務	在宅医療
6/25（火）	実習生との意見交換会	実習報告書作成
6/26（水）	学内外演習「社会における医師（１）」	
6/27（木）	学内外演習「社会における医師（２）」	
6/28（金）	学内外演習「社会における医師（３）」	

- ※ 実習の前週にオリエンテーションを実施するので必ず出席すること（60分程度）。日時は追って連絡する。
- ※ 上記の実習内容は過去のモデルケースであり、2019年度の具体的な実習内容と日程は、全体の日程が6月17日から6月28日までであることを除き、現時点では未定である。上記と異なる実習内容となる可能性がある。正式な実習内容は後日連絡する。
- ※ 「学内外演習」の実施場所は未定である。過去の実習先は、柏市保健所、東京都健康長寿医療センター、順天堂大学公衆衛生学、厚生労働省、筑西市の特定健康診査などであった。「学内外演習」以外の日程は筑西保健所での実習であるが、保健所外の施設での実習が含まれる。

【注意事項】

- ・ 筑西保健所までの移動には自家用車が必要であり、大学から現地まで1時間30分程度かかる。遠方なので時間に余裕をもって行動すること。交通事故のないように注意し、なるべく車は乗り合わせて行くこと。
- ・ 実習にかかる交通費等は自己負担となるので留意すること。
- ・ 服装は、特に指定がない場合はスーツ（男女）・ネクタイ（男性）を基本とする。必要に応じて白衣、エプロン、ジャージ等が必要になる場合がある。
- ・ 実習受入施設のご厚意によって実習が成り立っていることを肝に銘じ、礼を失しないよう格段の心構えで取り組むこと。実習態度や服装などには特に留意すること。
- ・ 急病などで真にやむを得ず欠席する場合は、担当教員及び実習施設に必ず連絡すること。

4. 土浦保健所

【実習テーマ】 地域における保健・医療・福祉の連携

【実習期間】 2019 年 6 月 17 日（月）～6 月 28 日（金）

【担当教員】 柳 久子

【一般目標 GI0】

地域における保健所の役割や、医師と行政との関わりを理解する。

保健・医療・福祉の連携に関する理解を深める。

【行動目標 SB0s】

- ・ 地域における保健所の役割を理解する
- ・ 医師と行政の関わりを理解する
- ・ 地域における保健・医療・福祉に関する理解を深める
- ・ 介護保険に関する理解を深める

【実習の内容】

- ・ 土浦保健所および管内の諸機関における実習・見学
- ・ 訪問看護、グループホーム、介護老人保健施設等での実習
- ・ リハビリテーション現場の体験
- ・ 介護予防教室への参加
- ・ 大学における演習、発表準備、実習の総括

【注意事項】

- ・ 実習中の服装については、臨床実習に準ずる。
- ・ 保健所関連の実習に関しては、別途細かい指示有り。
- ・ 駐車場は利用可能であるが、出来るだけ乗り合わせて出かけること。
- ・ 挨拶をきちんとすること。
- ・ 飲食・喫煙場所のルールを守ること。

【実習日程】平成30年度（参考）

	午前		午後	
	内容	場所	内容	場所
6/17(月)	オリエンテーション	土浦保健所	(午前と同様)	
6/18(火)	土浦児童相談所 (所長講義)	土浦児童相談所	感染症・結核対策について [保健指導課]	土浦保健所
6/19(水)	精神保健対策について [保健指導課、自助会の方]	土浦保健所	感染症診査協議会結核部会 結核レクチャー	土浦保健所
6/20(木)	記念病院リハビリ実習	記念病院	(午前と同様)	
6/21(金)	個人レポート作成	筑波大学	個人レポート情報共有	筑波大学
6/24(月)	所長講義 衛生課業務について	土浦保健所	ほびき園見学・実習 病院等立入検査について	ほびき園 土浦保健所
6/25(火)	工場見学	メグミルク阿見工場	土浦協同病院育児支援協議会	土浦協同病院
6/26(水)	個人レポート作成	筑波大学	(午前と同様)	
6/27(木)	個人レポート作成	筑波大学	個人レポート発表	筑波大学
6/28(金)	実習振り返り	土浦保健所	個人レポート仕上げ	筑波大学

5. 日立保健所

【実習テーマ】地域の保健医療福祉における保健所及び医師の役割

【実習期間】2019年6月17日（月）～6月28日（金）

【担当教員】田宮 菜奈子、岩上 将夫

【一般目標 GIO】

地域での公衆衛生活動に参加し、地域保健活動の全体像、保健所の役割、保健・医療・福祉の連携の実際を知る。また、様々な関係機関を訪れ、行政・研究・地域など、幅広い視点からの公衆衛生活動、およびこれらの活動における医師の役割を学ぶ。

【行動目標 SB0s】

- ・ 保健所を訪れ、地域保健活動を体験・見学することによって、地域の公衆衛生活動の現状や課題を理解する。
- ・ へき地医療を含む様々な医療機関を訪れ、保健・医療・福祉の連携の重要性と現状の課題、医師の役割について理解する。
- ・ 厚生労働省を訪問し、医療行政における厚生労働省、医系技官の役割を理解する。
- ・ 筑波大学ヘルスサービスリサーチ研究室の活動に参加し、社会医学研究の実際を知る。
- ・ リハビリテーション施設、介護老人福祉施設を見学し、地域における公衆衛生活動、医師の役割について理解する。

【実習項目・目的】

- ・ 保健所の業務に関する実習（日立保健所）
- ・ 食品衛生に関する実習（日立保健所管内の食品製造業見学）
- ・ 産業医活動に関する実習（日立保健所管内の産業医による講話）
- ・ へき地医療に関する実習（日立保健所管内の医療施設長による講話）
- ・ 救急救助活動に関する実習（日立保健所管内の消防署見学）
- ・ 地域保健医療福祉活動に関する実習（日立保健所管内の各種保健医療福祉施設見学）
- ・ 社会医学研究に関する実習（筑波大学ヘルスサービスリサーチ研究室）
- ・ 医療行政に関する実習（厚生労働省）
- ・ 介護老人福祉施設に関する実習（ごぎょうの里）
- ・ リハビリテーション施設に関する実習（茨城県立医療大学）

【宿泊希望の場合】

下記の施設が利用可能（これまでの実習では学生はここを利用しました）。

施設名：日立市 会瀬青少年の家

利用の際は、1ヵ月前までに日立保健所（担当者）へ連絡し、その後予約をすること。

【実施日程】

平成 31 年	午前		午後	
	実習内容	担当	実習内容	担当
6/17(月)	大学オリエンテーション	筑波大学	保健所オリエンテーション, 各課業務説明, 周産期ケア会議見学	日立保健所
6/18(火)	食品製造業の見学	日立保健所	所長講話「各課の業務内容」, 産業医の講話	日立保健所
6/19(水)	へき地医療についての講話 (北茨城市民病院など)	日立保健所	へき地医療についての講話 (北茨城市民病院など)	日立保健所
6/20(木)	救急救助活動の実際 (日立市消防本部)	日立保健所	診療所立入検査, 介護保険施設見学	日立保健所
6/21(金)	精神保健福祉業務の説明, 就労移行・就労継続支援 (B) 事業所見学	日立保健所	結核・感染症対策について, 調剤薬局見学実習, 保健所実習のまとめ	日立保健所
6/24(月)	保健所実習ふりかえり	筑波大学	リハビリ施設見学 (県立医療大学)	筑波大学
6/25(火)	資料の整理, レポートの準備 及び総合討論	筑波大学	資料の整理, レポートの準備 及び総合討論	筑波大学
6/26(水)	資料の整理, レポートの準備 及び総合討論	筑波大学	介護老人保健施設見学 (ごぎょうの里)	筑波大学
6/27(木)	地域精神科医・産業医講話	筑波大学	ヘルスサービスリサーチ 研究室ゼミ見学	筑波大学
6/28 (金)	厚生労働省見学	筑波大学	資料の整理, レポートの準備 及び総合討論	筑波大学

実習日程の詳細は今後訪問先と調整して決定する。(上表の実習内容は本年の予定企画と過去の内容を参考に例示したものである)。

【注意事項】

- ・ 服装は基本的にはネクタイをして清潔に(女性もこれに準ずる)。実習施設により白衣着用の場合がある。
- ・ 時間厳守。遅れることのないように、時間に余裕をもって行動をする。
- ・ 患者や入所者の写真を撮る場合は、必ず本人及び施設の責任者から許可を得る。工場内部の撮影も企業秘密に関するものがあるため、予め許可を得ること。
- ・ すべての施設には実習終了後礼状を出す。(お世話になった人には感謝の意を)

6. 水戸保健所

【実習テーマ】地域の保健医療福祉における保健所及び医師の役割

【実習期間】2019 年 6 月 17 日（月）～6 月 28 日（金）

【担当教員】近藤 正英、大久保 麗子

【一般目標 GIO】

地域における公衆衛生活動に参加し地域保健活動の全体像，保健所の役割，保健・医療・福祉の連携の実際，また，関係機関を訪れ国際的視点からの公衆衛生活動や国際保健医療協力を，そしてこれらの活動における医師の役割を学ぶ。

【行動目標 SB0s】

- 保健所を訪れ現場での体験を通じてその役割を理解し，地域保健活動を体験・見学することによって地域の公衆衛生活動の現状や課題を理解する。
- 保健・医療・福祉の連携の現状と課題を理解し，その重要性を理解するとともに，医師の役割について理解する。
- ハンセン病に関わる機関を訪れ社会の中での医療のあり方について理解を深める。
- 国際保健活動等に関わる機関を訪れ，結核や感染症を含めた国際保健や国際医療協力の現状や課題を理解する。
- 保健医療行政における医師の役割を理解する。

【実習項目・目的】

- 保健所の業務に関する実習（水戸保健所）
- 地域保健活動に関する実習（水戸保健所管内の保健医療福祉施設）
- 医療福祉連携に関する実習（市町村保健センター，介護老人保健施設，訪問看護ステーション）
- 食品衛生や健康危機管理に関する実習（茨城中央食肉公社，核燃料サイクル開発機構）
- 結核対策及び国際保健活動に関する実習（結核研究所）
- ハンセン病医療に関する実習（多磨全生園）
- ハンセン病に関する見学（国立ハンセン病資料館）
- 政策立案及び医療経済学に関する演習（筑波大学）

【実施日程】

	午前		午後	
	実習内容	担当	実習内容	担当
1日目	実習オリエンテーション	大学	精神保健福祉（ひきこもり家族ミーティング）対策委 講義「各課の業務内容」	水戸保健所
2日目	講義「各課の業務内容」	水戸保健所	茨城県赤十字血液センター見学	水戸保健所
3日目	講義「各課の業務内容」 茨城県立衛生研究所見学	水戸保健所	保健医療福祉連携（水戸市保健医療協議会） 結核対策（DOTS会議）	水戸保健所
4日目	地域保健活動（シルバーリハビリ体操指導士養成講習会）	水戸保健所	健康危機管理 原子力防災機材取扱合同訓練	水戸保健所
5日目	茨城県身体障害者小児歯科治療センター見学訪問看護ステーションみと	水戸保健所	茨城県立健康プラザ見学 所長講話	水戸保健所
6日目	政策立案演習	大学	政策立案演習	大学
7日目	結核研究所（予定）	大学	多磨全生園（予定）	大学
8日目	医療経済学演習	大学	医療経済学演習	大学
9日目	合同発表会とレポートの準備	大学	合同発表会とレポートの準備	大学
10日目	東京検疫所班との合同発表会	大学	レポートの準備	大学

実習日程の詳細は今後訪問先と調整して決定する。（上表の保健所での実習内容は近年の例を本年度の日程に組み入れたものである）。

【注意事項】

- ・ 服装は基本的にはネクタイをして清潔に（女性もこれに準ずる）。実習施設により白衣着用の場合がある。
- ・ 時間厳守。遅れることのないように、時間に余裕をもって行動をする。
- ・ 患者や入所者の写真を撮る場合は、必ず本人及び施設の責任者から許可を得る。工場内部の撮影も企業秘密に関するものがあるため、予め許可を得ること。
- ・ すべての施設には実習終了後礼状を出す。（お世話になった人には感謝の意を）
- ・ ハンセン病と結核は今後ともあまり経験することがないので、施設を訪れる前にそれぞれ各自A4サイズ1枚程度にまとめて予習を行っておくこと。事前に発表をお願いすることがある。

7. 竜ヶ崎保健所

【実習テーマ】 公衆衛生行政と保健医療福祉の連携

【実習期間】 2019 年 6 月 17 日（月）～6 月 28 日（金）

【担当教員】 堀 愛

【一般目標 GIO】

地域における公衆衛生活動に参加し、保健所の役割と保健医療福祉の連携について理解を深める。

【行動目標 SB0s】

- ・ 公衆衛生行政ならびに保健所の役割を説明することができる。
- ・ 地域における公衆衛生活動について、その現状と課題を説明することができる。
- ・ 保健医療福祉の連携について、その現状と課題を説明することができる。

【実習項目・目的】

- ・ 竜ヶ崎保健所および管内の関連施設における実習・見学（実習日程を参照）
- ・ 保健医療福祉に関するフィールドワーク

【研究テーマ】

各自が実習内容に基づき設定する。

【実施日程】

	内容	場所
1 日目	オリエンテーション 保健所業務説明	学内 竜ヶ崎保健所
2 日目	自主学習	学内
3 日目	保健所実習（難病申請受付）	竜ヶ崎保健所
4 日目	訪問看護ステーション実習	訪問看護ステーション竜ヶ崎
5 日目	診療所実習	各診療所
6 日目	在宅診療所実習	あおぞら診療所
7 日目	回復期リハビリテーション実習	筑波記念病院
8 日目	保健所医師講話 結核診査協議会見学	竜ヶ崎保健所
9 日目	レポート中間報告会	学内
10 日目	レポート作成	学内

以上は前年度の実績である。実習期間・内容に若干の変更があるかもしれない。実習内容については要望があれば、担当教員へ申し出ること。

【注意事項】

- ・ 実習中の服装は、指示がない限り、スーツや病院実習時の服装に準ずるものとする。
- ・ 本学周辺から竜ヶ崎保健所に電車やバスで通うのは困難なため、自家用車で通うことになる。

8. 茨城県精神保健福祉センター

【実習テーマ】 茨城県における精神保健福祉活動

【実習期間】 2019 年 6 月 17 日（月）～6 月 28 日（金）

【担当教員】 大谷 保和

【一般目標 GI0】

医療と社会の接点における活動を理解し、精神保健福祉の現場の第一線の業務を体験的に理解することを通して社会医学を学ぶ。

【行動目標 SB0s】

- ・ 以下についての基礎知識を理解および説明できる。
 - ・ 精神保健領域の実践の基礎となる法制度（精神保健福祉法、障害者自立支援法、医療観察法等）
 - ・ 精神保健領域の専門機関（精神保健福祉センター、保健所、社会復帰施設、保護観察所、児童相談所など）での業務の実際
 - ・ 精神保健領域でさまざまな問題をかかえる人（アルコール・薬物依存、引きこもり、電話相談、社会復帰施設使用者）が相談・治療・社会復帰する過程で辿るプロセス
 - ・ 精神保健学的な評価法（面接・心理テストなど）や介入法（心理療法など）の基礎
 - ・ 上述した点において現状を踏まえながら
 - ・ 何が問題となっているのか
 - ・ 問題の背景や原因は何か
 - ・ 問題を解決するために必要な対応は何か
- について、さまざまな観点から論じ、レポートとしてまとめることができる。

【実習項目・目的】

- ・ 精神保健福祉センターの位置づけ、機能、スタッフの役割を学ぶ。
- ・ 茨城県の精神保健福祉行政を俯瞰的に捉え、精神医療の現状・課題・改善策を考える。
- ・ 精神保健領域におけるさまざまな専門機関の見学を行い、スタッフや利用者とのふれあいを通じて問題意識を深める。

【研究テーマ】

- ・ （実習の中に組み込まれた）茨城県における精神保健関連の事業や取り組みについて

【実施日程】

期日	午前		午後	
	実習内容	担当	実習内容	担当
6/17（月）	社会医学実習オリエンテーション・精神保健学概論の講義（筑波大学） （精神保健福祉法および制度の要点、精神障害者の社会復帰、児童虐待への介入と援助、アルコール・薬物依存症の基礎知識）			精神保健学 教員
6/18（火）	オリエンテーション・精神保健福祉センターについて・相談援助課事業について・依存症対策について （精神保健福祉センター）	センター長・ センター職員	心神喪失等医療観察法についての講義と施設見学 （水戸保護観察所）	保護観察所職員
6/19（水） ～ 6/25（火）	ひきこもり対策についての講義（精神保健福祉センター）	センター職員	精神医療福祉課の事業について・自殺予防対策についての講義（精神保健福祉センター）	センター職員
	センター長による講義（精神疾患のケースワーク） （精神保健福祉センター）	センター長	①児童相談所の見学（中央児童相談所） ②アルコール家族教室への参加（精神保健福祉センター） （①と②に分かれて参加）	児童相談所職員 センター職員
	精神障害者自立支援センターでの体験学習（ゆきわりそう）			センター職員・ ゆきわりそう職員
	薬物依存症回復施設の体験学習（茨城ダルク）			センター職員・ ダルク職員
	ケースカンファレンスへの参加（精神保健福祉センター）	センター長・ センター職員	終了カンファレンス （精神保健福祉センター）	センター長・ センター職員
6/26（水） ～6/28（金）	実習のまとめとレポート作成（筑波大学）			精神保健学 教員

実習日程の詳細は5月頃に決定する（上表は昨年度の日程を本年の日程に組み入れたものである）

【注意事項】

- ・初日の学内での講義は白衣不要。2日以降については初日に説明する予定。
- ・実習協力先各機関が業務の合間を縫って好意で実施する実習であり、礼儀正しい行動を心掛ける。
- ・集合時間への遅刻、講義中の居眠り・携帯電話使用・内職は厳禁。
- ・精神障害当事者（利用者）への対応に失礼がないようにする。
- ・実習中は実習生に相応しい服装とする（スーツは必要ない）。
- ・学外施設ではネームプレートを必ず着用する。
- ・施設によっては上靴（スリッパでも可）の用意が必要となる。

9. 精神保健福祉・児童福祉機関

【実習テーマ】子どもと成人の精神保健福祉

【実習期間】2019年6月17日（月）～6月28日（金）

【担当教員】森田 展彰

【一般目標 GI0】

地域で成人や子どもの精神的問題を支援する多様な支援機関（精神保健福祉センター、精神障害者社会復帰施設、薬物依存症や発達障害に対するクリニック、児童相談所、児童福祉施設など）に赴き、発達の視点を含む精神的な問題の理解やケアについて学ぶ。

【行動目標 SB0s】

- ・精神障害の予防、早期発見・介入、社会復帰について精神保健センターをはじめとする各施設の役割や機能について説明できる。
- ・アルコール薬物依存症を理解し、回復のための援助方法について説明できる。
- ・不適切な養育や発達の問題を抱えた児童に対する地域における支援について理解できる。
- ・精神障害のある当事者やその支援者と話をおききして、その気持ちに寄り添うとともに、支援に関するニーズや課題について考察する。

【実習項目・目的】

- ・わが国の精神障害の現状と対策、精神保健福祉法、精神科リハビリテーション、アルコール・薬物依存症の実態など、実習を行う上で役立つ知識を学ぶ。
- ・精神保健に関連する多様な関連機関（精神障害者社会復帰施設、児童福祉施設、高齢者施設、薬物依存症社会復帰施設など）に出向き、地域における精神的な問題を持つ人に対するケアや社会復帰の実際について学ぶ。
- ・不適切な養育を受けた児童について、その症状や親子関係や生活上の困難について理解する。それとともにどのような支援が行われているかを学ぶ。

【研究テーマ】

- ・精神障害のある人の持つ当事者のもつ多様な支援ニーズおよびそれに対する具体的な対応について明らかにする。
- ・児童虐待の背景要因や子供に与える影響について。またそうした事例に対する親や子どもに対する介入・支援
- ・児童期の精神的な問題が成人後の精神障害にどのように影響しているかを明らかにする。

【実施日程】 以下は昨年の予定表です。これに準じたものとなります。

(H31 年度は発達障害の医療機関の見学はない可能性があります)

日時	午前	午後	担当
6/18(月)	学内(総合研究棟D115 号室) 9 時半集合 社会精神医学の概論 児童虐待	学内(総合研究棟D115 号室) その後の実習予定確認 アディクションなど	斎藤 森田 大谷
6/19(火)	精神保健福祉センター 3 階ミーティングルーム 3 に 8 時 45 分に集合 9 顔合わせ・自己紹介 精神保健福祉センターについて 10 講義：相談援助課事業について 9：00～12：00	13:50 水戸保護観察所 集合 14:00 ～16：00 医療観察法について (於 水戸保護観察所)	大谷
6/20(水)	精神保健福祉センター 3 階ミーティングルーム 3 9：00～12：00 講義：依存症、自殺対策	13：00～16：00 同センターでの 講義など 精神科救急など	大谷 森田
6/21(木)	自習	神経科クリニック子どもの園 13 時(現地集合) 児童精神科のクリニック、発達障害等の 治療を行う現場をみてその治療や生活援助 について学ぶ。	森田 菊地 春樹 先生
6/22(金)	つくばさくらの森乳児院 10 時—12 時 不適切な養育などにより家庭から離して 療育を提供する施設である。その運営の 意義や行われているケアについて学ぶ	自習	森田
6/25(月)	医療法人社団アパリ・クリニック(新宿区) 薬物依存症に対する専門のクリニックおよびダルクでの実習 9 時 30 分に上記クリニックに現地集合、13 時くらいまで。 薬物依存症やその回復・援助について学ぶ。依存症の外来治療および自助グループ 見学		森田 肥田院長
6/26(火)	自習	社会福祉法人 筑波会 筑波愛児園 14 時 30 分—16 時 ＊児童養護施設の概要や不適切な養育が 児童に与える影響を学ぶ	森田 立川先生
6/27(水)	精神障害者社会復帰施設つくばライフサポートセンター(みどりのの施設で 集合、あとで他の施設のへ移動) 午前 8 時 50 分集合(現地集合) 午前 9—14 時 精神障害者の自立支援にはどのようなことが必要か、生活スキルの向上や 就労に向けた支援の実際について学ぶ。 昼食は、就労支援として行っているレストランで食べる(有料)方向で考えています。 学生の皆様のご理解をいただければと思います。		森田 伊藤さん
6/28(木)		水戸中央児童相談所・一時保護所 1 3：30～15：30 児童相談所の役割、児 童虐待への対応体制を学ぶ	森田
6/29(金)	自習		

【注意事項】

- 実習ですので出席が最も大事です。遅刻欠席は基本的に不可です。特別な事情があり遅刻、欠席をする場合は遅滞なく保健所及び大学研究室に連絡をしてください。
- 長髪はまとめる，爪を切る，装飾品はつけない等，学生としてのマナーを守ること。（実習機関から注意しても聞き入れてもらえない学生がいたと注意をうけていますので、よろしくお願いします）
- 白衣については必要と指定された日のみで結構です。（使わない可能性もあり）
- 行き帰りの挨拶をきちっと行うこと。
- 様々な職種や患者さん、あるいはその家族の中に入っていくことになるので、状況に応じた十分な配慮を行うこと。
- 保健所への交通は、学生の皆さんの間で順番に2台位の車を出して分乗して現地に行ってください。（各自で車を出す方式でも構わないのですが、保健所の駐車場があまり余裕がないこと、遅れる人が出にくいことを考えると一緒に来ていただいた方がよいかと思います。）
万が一に事故などが生じたら森田まで連絡してください。

10. 茨城産業保健総合支援センター

【実習テーマ】産業保健領域における予防医学実習

【実習期間】2019 年 6 月 17 日（月）～6 月 28 日（金）

【担当教員】笹原 信一郎、道喜 将太郎、堀 大介

【一般目標 GIO】

産業保健現場における労働安全衛生体制，産業医をはじめとする産業保健スタッフの役割と業務の実際を学ぶ.

【行動目標 SB0s】

- ・ 事業場における産業医の位置づけ，役割が説明できる.
- ・ 事業場における労働安全衛生に関する法規とそれに基づく基準の概要を説明できる.

【実習項目・目的】

- ・ 職場に潜在化する危険とそれに対する医学的見地から見た予防措置を考案する.

【研究テーマ】

産業保健の現状と課題

【実施日程】

日付	訪問先
6月17日(月)	筑波大学 オリエンテーション / 高エネルギー加速器研究機構 (KEK)
6月18日(火)	看護学類と共同実習
6月19日(水)	園芸福祉ファーム お〜い船形/筑協総会聴講
6月20日(木)	東京都庁
6月21日(金)	新日鐵住金鹿島製鐵所
6月22日(土)	休日
6月23日(日)	休日
6月24日(月)	中間評価/学生発表
6月25日(火)	労働局・産業保健総合支援センター講義
6月26日(水)	産業医シミュレーション
6月27日(木)	宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 筑波宇宙センター見学/講義
6月28日(金)	KOMATSU 茨城工場

※実習日程の詳細は 5 月頃に決定する(上表は昨年度の日程をもとに参考として作成したものである)

【注意事項】

- ・ いずれの実習先も民間企業・官公庁であり、入場に関して特別の許可を受けているため、遅刻した場合、欠席扱いとなることがある。
- ・ 駐車場に余裕のない場所もあるため、必ず車1台に3～5人乗車、計3台までで行動すること。
- ・ 実習協力先各機関の好意で実施する実習であり、礼儀正しい行動を心掛けること。
- ・ 指示のない限り、基本的に常時ネクタイとジャケット（スーツ）を着用すること。
- ・ 実習先が、東京都内や茨城県県北の事業場など様々な機関に及ぶが、交通費は実費負担となる。

11. 茨城労働局

【実習テーマ】産業保健領域における予防医学実習

【実習期間】2019 年 6 月 17 日（月）～6 月 28 日（金）

【担当教員】松崎 一葉、大井 雄一

【一般目標 GIO】

産業保健現場における労働安全衛生体制，産業医をはじめとする産業保健スタッフの役割と業務の実際を学ぶ。

【行動目標 SB0s】

- ・ 事業場における産業医の位置づけ，役割が説明できる。
- ・ 事業場における労働安全衛生に関する法規とそれに基づく基準の概要を説明できる。

【実習項目・目的】

- ・ 職場に潜在化する危険とそれに対する医学的見地から見た予防措置を考案する。

【研究テーマ】

産業保健の現状と課題

【実施日程】

日付	訪問先
6月17日(月)	筑波大学 オリエンテーション / 高エネルギー加速器研究機構 (KEK)
6月18日(火)	看護学類と共同実習
6月19日(水)	園芸福祉ファーム お〜い船形/筑協総会聴講
6月20日(木)	東京都庁
6月21日(金)	新日鐵住金鹿島製鐵所
6月22日(土)	休日
6月23日(日)	休日
6月24日(月)	中間評価/学生発表
6月25日(火)	労働局・産業保健総合支援センター講義
6月26日(水)	産業医シミュレーション
6月27日(木)	宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 筑波宇宙センター見学/講義
6月28日(金)	KOMATSU 茨城工場

※実習日程の詳細は 5 月頃に決定する(上表は昨年度の日程をもとに参考として作成したものである)

【注意事項】

- ・ いずれの実習先も民間企業・官公庁であり、入場に関して特別の許可を受けているため、遅刻した場合、欠席扱いとなることがある。
- ・ 駐車場に余裕のない場所もあるため、必ず車 1 台に 3～5 人乗車、計 3 台までで行動すること。
- ・ 実習協力先各機関の好意で実施する実習であり、礼儀正しい行動を心掛けること。
- ・ 指示のない限り、基本的に常時ネクタイとジャケット（スーツ）を着用すること。
- ・ 実習先が、東京都内や茨城県県北の事業場など様々な機関に及ぶが、交通費は実費負担となる。

12. 東京検疫所

【実習テーマ】 国際感染症対策や輸入食品の安全確保対策等における医師の役割

【実習期間】 2019 年 6 月 17 日（月）～6 月 28 日（金）

【担当教員】 大久保 麗子、近藤 正英

【一般目標 GIO】

東京検疫所等における公衆衛生活動に参加し国際感染症対策や輸入食品の安全確保対策の実際、また、厚生労働省等の関係機関を訪れ行政官としてあるいは国際的な公衆衛生活動や国際保健医療協力における公衆衛生医師の役割を学ぶ。

【行動目標 SB0s】

- ・ 検疫所を訪れ現場での体験を通じてその役割を理解し、国際感染症対策や輸入食品の安全確保対策を体験・見学することによって国際空港や港湾における公衆衛生活動の現状や課題を理解する。
- ・ 動・植物検疫所や税関、入国管理局等との連携の現状と課題を理解し、その重要性を理解するとともに、医師の役割について理解する。
- ・ 厚生労働省を訪れ、医療や保健、国際協力等の幅広い分野での行政官（医系技官）の活動や役割を理解する。
- ・ ハンセン病に関わる機関を訪れ社会の中での医療のあり方について理解を深める。
- ・ 国際保健活動等に関わる機関を訪れ、結核や感染症を含めた国際保健や国際医療協力の現状や課題を理解する。
- ・ 保健医療行政における医師の役割を理解する。

【実習項目・目的】

- ・ 検疫所の業務及び検疫活動に関する実習（東京検疫所、東京検疫所東京空港支所、成田空港検疫所）
- ・ 黄熱予防接種に関する実習（東京検疫所）
- ・ 厚生労働省における行政官の活動や役割に関する実習（厚生労働省）
- ・ 結核対策及び国際保健活動に関する実習（結核研究所）
- ・ ハンセン病医療に関する実習（多磨全生園）
- ・ ハンセン病に関する見学（国立ハンセン病資料館）
- ・ 政策立案及び医療経済学に関する演習（筑波大学）

【実施日程】

	午前		午後	
	実習内容	担当	実習内容	担当
1 日目	実習オリエンテーション	大学	検疫所実習オリエンテーション	東京検疫所
2 日目	検疫衛生業務説明	東京検疫所	食品監視・検査業務説明と見学	東京検疫所
3 日目	輸入食品等監視業務、東京空港検疫所支所の実績について説明 TIACT見学	東京空港支所	国際空港における検疫業務の見学	東京空港支所
4 日目	講義「厚生労働省における行政官（医系技官）の活動と役割について」	厚生労働省	国際感染症対策室の活動	国立国際医療研究センター
5 日目	国際空港における検疫業務の見学	成田空港検疫所	国際空港における検疫業務の見学	成田空港検疫所
6 日目	政策立案演習	大学	政策立案演習	大学
7 日目	結核研究所（予定）	大学	多磨全生園（予定）	大学
8 日目	医療経済学演習	大学	医療経済学演習	大学
9 日目	合同発表会とレポートの準備	大学	合同発表会とレポートの準備	大学
10 日目	水戸保健所班との合同発表会	大学	レポートの準備	大学

実習日程の詳細は今後訪問先と調整して決定する。（上表の検疫所での実習内容は前年度の例を参照し本年度の日程に組み入れたものである）。

【注意事項】

- ・ 服装は基本的にはネクタイをして清潔に（女性もこれに準ずる）。実習施設により白衣着用の場合がある。
- ・ 時間厳守。遅れることのないように、時間に余裕をもって行動をする。
- ・ 旅行者や施設内で写真を撮る場合は、必ず施設の責任者から許可を得る。
- ・ すべての施設には実習終了後礼状を出す。（お世話になった人には感謝の意を）
- ・ ハンセン病と結核は今後ともあまり経験することがないので、施設を訪れる前にそれぞれ各自 A 4 サイズ 1 枚程度にまとめて予習を行っておくこと。事前に発表をお願いすることがある。

13. グローバルヘルス

【実習テーマ】 グローバルヘルス

【実習期間】 2019 年 6 月 17 日（月）～6 月 28 日（金）

【担当教員】 我妻 ゆき子、福重 瑞穂

【一般目標 GIO】

途上国を含め、世界の保健医療の状況及び国際協力の取り組みを理解し、また在日外国人や海外渡航者・訪日外国人に対する保健医療ケアについて学ぶことを目標とする。

【行動目標 SBOs】

- ・ 国際保健医療（グローバルヘルス）の重要性を理解し、関連する課題と問題点を把握できる。
- ・ 地球規模の健康課題への取組みと国際協力の必要性を把握できる。
- ・ 海外渡航者や訪日外国人の増加に伴う渡航医学や、定住する外国人への医療提供について、その重要性を把握できる。
- ・ 国境を超えて脅威を与える新興再興感染症について理解を深め、対策について説明できる。
- ・ 顧みられない熱帯病についての理解を深める。
- ・ 気候変動に伴う健康問題の出現を理解し、説明できる。
- ・ 問題解決に関するグループ内討論により、問題解決能力を高める。
- ・ データ解析、結果の表現能力を高め、わかりやすく説得力のある報告書を作成することができる。

【実習項目・目的】

プロジェクト・サイクル・マネージメント手法により、国際医療保健活動のプロジェクト計画を作成する。

国際保健医療活動を実施している機関（国際医療研究センターなど）を訪問し、その活動内容について学ぶ。

【研究テーマ】

国際保健医療に関するプロジェクト計画書を各自提出する。

【実施日程】

日 程	内 容	実 習 場 所
6/17(月)	オリエンテーション ディスカッション 国際保健とその歴史（我妻） プロジェクト・サイクル・マネージメント(PCM)（福重） グループプロジェクトワーク	筑波大学
6/18(火)	ディスカッション 人口・リプロダクティブヘルス・栄養（我妻） プロジェクト・デザイン・マトリックス演習（福重） グループプロジェクトワーク	筑波大学
6/19(水)	ディスカッション 感染症、顧みられない熱帯病（福重） グループプロジェクトワーク	筑波大学
6/20(木)	ディスカッション サステイナブルデベロップメントゴール (SDG)（福重） グループプロジェクトワーク	筑波大学
6/21(金)	グループプロジェクト発表会 グループ報告書提出	筑波大学
6/24(月)	個人研究テーマコンサルテーション 個人研究テーマに関するワーク	筑波大学
6/25(火)	個人研究テーマに関するワーク（続き）、報告書作成	筑波大学
6/26(水)	国際保健医療活動実施機関の訪問	国際医療研究センターなど
6/27(木)	研究テーマに関するワーク（続き）、報告書作成	筑波大学
6/28(金)	個人研究発表会 個人研究報告書提出	筑波大学

【注意事項】

学外施設訪問ではネームプレートを必ず着用し、実習生に相応しい服装とする（スーツは要求しないが、それに近い服装とする）。6/26 の施設訪問については、受け入れ機関の事情により実習期間の別の日への変更の可能性があります。一部の講義や討論を外国人 TA とともに英語で実施します。

14. 臨床研究の実践と生物統計

【実習テーマ】臨床研究の実践と生物統計

【実習期間】2019 年 6 月 17 日（月）～6 月 27 日（木）

【担当教員】五所 正彦

【一般目標 GIO】

根拠に基づいた医療（evidence-based medicine, EBM）の実践のためには、臨床研究を行い、客観的データを提供する必要がある。本実習を通じて、医学における問題発見能力、問題を考察する能力、およびその解決能力を養うことを目標とする。

【行動目標 SB0s】

- ・ 臨床研究を通じて、EBM の考え方を理解できる。
- ・ 研究テーマを探究し、論理的思考により問題点を把握できる。
- ・ 問題解決に関するグループ内討論により問題解決能力を高めることができる。
- ・ データ解析、結果の表現能力を高め、説得力のあるプレゼンテーションができる。
- ・ 研究内容を報告書としてまとめることができる。

【実習項目・目的】

- ・ EBM や臨床研究の必要性を学ぶ。
- ・ 臨床研究と医療の関連を理解できる。
- ・ 臨床研究の組織、仕組み、手順、技法を学習する。
- ・ 臨床研究の実施現場を見学し、実態を理解する。
- ・ 臨床研究を実践する上での研究マインドを養う。
- ・ 患者の倫理を守るためのルールを理解する。
- ・ つくば臨床医学研究開発機構 T-CReDo の見学を通じて、臨床研究に携わる人たちの役割を学ぶ。
- ・ データの品質の重要性を理解する。
- ・ データ分析法を学習する。
- ・ 臨床研究を主体的に実践できる医師に必要な基礎的技能を養成する。

【研究テーマ】臨床研究の計画、実施、解析、報告

【実施日程】

2019 年	内 容	場 所
6/17（月）	社会医学実習オリエンテーション	筑波大学
6/18（火）	臨床研究とは？その手順と技法，ルール 臨床研究の現場（１）研究計画書	筑波大学 T-CReDO
6/19（水）	臨床研究の現場（２）研究の実施と管理	筑波大学 T-CReDO
6/20（木）	臨床研究の現場（３）データマネージメント と統計解析	筑波大学 T-CReDO
6/21（金）	臨床研究の現場（４）実地見学	筑波大学附属病院 他
6/24（月）	これまでの実習と臨床論文輪読を踏まえた研 究仮説の創生	筑波大学
6/25（火）	SPSS によるデータ分析	筑波大学
6/26（水）	SPSS によるデータ分析	筑波大学
6/27（木）	結果の解釈，考察，討議 報告書の作成	筑波大学

【注意事項】

- ・ 実習の日程や内容の詳細は後日改めて連絡する。
- ・ 実地見学では、実習生は自家用車での移動が必要となる場合がある（現在、実地見学場所を調整中で、見学場所による）。
- ・ 実習中の服装は、筑波大学の実習生として相応しい格好とする。
- ・ 医療施設の見学にあたり、患者と接することもあるので、ルールとマナーを遵守すること。

15. 分子遺伝疫学実習

【実習テーマ】疾患の遺伝因子の解明とその医療応用、ヒトゲノムデータベースの使い方

【実習期間】2019年6月17日（月）～6月28日（金）

【担当教員】土屋 尚之、古川 宏、川崎 綾、村谷 匡史

【一般目標 GIO】

ヒトゲノム解析による疾患の遺伝因子の解明は急速に進展しており、次世代シーケンス解析を用いた臨床・シーケンシングやゲノム薬理的知見は、すでに医学研究や医療の現場に導入されています。誰もがアクセスできる、各種公開ヒトデータベースも急速に充実してきています。今後の医学・医療の担い手にとって、ヒトゲノム、疾患や薬剤応答性の遺伝因子に対する理解は重要であり、公開データベースを利用して、興味を持った疾患や遺伝子に関する情報を、日常的に得るための基本的手法を学ぶことは、ヒトゲノム、疾患の遺伝因子に対する興味と理解を深める上で、大きな助けになります。

本実習では、学内におけるセミナーおよび基本的なバイオインフォマティクス演習を通じて、ヒトゲノム多様性、疾患の遺伝因子解析の方法と研究の現状、ヒトゲノムデータベースからの情報収集法、遺伝統計学的解析法について理解するとともに、自ら課題を見つけ、解決する能力を養うことを目標とします。また、学内において次世代シーケンサー(NGS)を装備した研究室の見学と講義によりゲノム医療の実装を学ぶとともに、学外の大規模血液センター実習において、血液製剤の安全管理について学ぶとともに、遺伝子解析がどのように医療に応用されているかについても学びます。

【行動目標 SB0s】

- 初歩的なバイオインフォマティクスの方法を習得し、公開データベースを用いて、自らの興味を持つ疾患および遺伝子に関する情報を収集することができる。
- 遺伝型データを統計学的に解析し、解釈することができる。
- ヒトゲノム解析を用いた疾患研究の論文を読み、理解することができる。
- 医学研究および医療の現場において、ヒトゲノム解析、遺伝子検査がどのように行われ、どのような留意が必要であるかを理解する。
- グループ内討論により問題解決能力を高めることができる。
- わかりやすく説得力のあるプレゼンテーションができる。
- 実習内容を報告書としてまとめることができる。

【実習項目・目的】

- ヒトゲノム多様性、疾患の遺伝的リスクファクターについて理解し、それらの医学・医療における意義および解析法を学ぶ。
- ヒトゲノムデータベースから必要な情報を得る方法を学ぶ。
- 基本的な遺伝統計学的解析法を学ぶ。
- 学内のヒトゲノム解析施設および学外の大規模血液センターにおいて、ヒトゲノム解析、遺伝子検査がどのように行われ、研究および臨床に応用されているかを学ぶ。
- 血液センターにおける安全管理について学ぶ。

【研究テーマ】人類集団におけるゲノム多様性とその医学・医療における意義

【実施日程】

日程や内容は、今後変更される可能性があります。

2019 年	午前	午後	場所
	実習内容	実習内容	
6/17(月)	オリエンテーション ヒトゲノム多様性と疾患（セミナー）	dbGaPデータベースを利用した疾患関連SNPの探索と、SNP情報・遺伝子情報の取得I（演習）	学内
6/18(火)	HLAの多様性と医学的意義（セミナー）	SNP情報・遺伝子情報の取得II、PCRプライマーの設計、（演習）	学内
6/19(水)	日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター実習 （献血ルーム見学/献血体験、血液型、感染症・核酸増幅検査、HLA、日本の献血制度および血液事業の現状、血液製剤、臍帯血バンク）		日本赤十字社 血液センター （辰巳）
6/20(木)			
6/21(金)	疾患ゲノム解析の成果と最近の展開（セミナー）	NIEHSデータベースを利用した連鎖不平衡情報の取得（演習）	学内
6/24(月)	遺伝学的解析法（SNPタイピング、シーケンス、HLAタイピングなど）（セミナー）	遺伝子発現情報の取得、eQTL解析（演習）	学内
6/25(火)	NGSを用いたゲノム医療の実装について（i-Lab, プレシジョン・メディスン開発研究センター見学、セミナー）	パスウェイ解析ツール等を用いたトランスクリプトーム解析（演習）	学内
6/26(水)	興味を持つ疾患や遺伝子を自ら選択し、データベースからゲノム、トランスクリプトーム、発現などに関する情報を得て、まとめるとともに、課題を自ら設定し、データベースからどこまで情報が得られるか、また、それを検証するためにはどのような研究計画を立てればよいかを考察する		学内
6/27(木)	6/26 演習の発表と討論		学内
6/28(金)	ゲノム薬理学と個別化医療（セミナー）	レポート作成	学内

【注意事項】

- ・血液センター実習は、現地集合、現地解散となります。電車の便が良いこと、駐車場は限られていることから、電車を利用してください。交通費は自己負担となります。
- ・血液センター実習時の服装は「クールビズ」で、半袖シャツ、ポロ、ノータイ、スラックス、チノ OK です。
- ・必要な資料は、実習中に配布します。

16. 環境医学実習

【実習テーマ】生活環境化学物質の可視・定量化

【実習期間】2019年6月17日（月）～6月28日（金）

【担当教員】実習①：熊谷 嘉人、新開 泰弘

実習②：藤 栄治

【一般目標 GIO】

生活環境、食品中に存在する化学物質について、その性質、健康への影響、毒性発現のメカニズム、分析方法を理解する。社会医学的な立場から、当該分野における問題点の発見、解決、考察する能力を養う。

【行動目標 SB0s】

- ・大気汚染物質の健康障害について概説できる。
- ・大気汚染物質の分析方法を理解できる。
- ・食品に含まれる化学物質の種類、その問題点を概説できる。
- ・遺伝子組換え作物の安全性に関する社会的問題点を理解できる。
- ・食品に含まれる遺伝子組換え体の検出方法を説明できる。
- ・グループ内討論、要点のまとめ、発表を通して問題解決能力を高める。

（１）実習①：大気汚染物質の測定

【実習項目・目的】

環境医学実習では、筑波大学周辺での大気汚染の状況を調べるために、大気中窒素酸化物濃度を測定する。具体的には、大気中窒素酸化物を吸収するバッジを作成し、筑波大学周辺交差点に24時間設置する。回収後、バッジ中に吸収された窒素酸化物濃度をザルツマン法により定量化する。

【実習日程】

日付	実習内容	実習場所
6月17日(月)	オリエンテーション	4A203（予定）
6月18日(火)	窒素酸化物測定用バッジ作成	4A211（予定）
6月19日(水)	バッジ取り付け(大学周辺交差点)	4A211（予定）
6月20日(木)	バッジ回収、解析	4A211（予定）
6月21日(金)	ディスカッション	4A211（予定）

（２）実習②：食品に含まれる成分の測定とその安全性

【実習項目・目的】

食品に含まれる種々の健康障害物質について、分析する手法と疾病の発症機構、生体防御の仕組み、予防医学的取組みを、討論と実習を通して学ぶ。歴史的な背景と社会的な問題点を整理し、研究方法の発展と現在の課題について理解を深める。

また、遺伝子組換え食品、狂牛病の原因と対策、化学物質による発がん予防などの問題に関して、未解決点を見出し、関連する課題の代表的な学術論文を査読、個々の研究課題についてグループ間で討論することで科学的に考える力を養う。

【実習日程】

	実習内容（予定）
6月24日(月)	オリエンテーション、試薬調製、 実験① 抗酸化能の測定
6月25日(火)	実験② 着色料の分離
6月26日(水)	実験③ 亜硝酸根の定量
6月27日(木)	実験④ 遺伝子組換え食品の検出
6月28日(金)	データ整理、レポート作成

【注意事項】

実験中は白衣を着用すること。

*上記の実習内容は、H29年度のものであり、若干の変更がある可能性があります。

2019 年度 M4 社会医学実習担当教員連絡先

M4

社会医学実習シラバス-実習ガイド-

第 43 回生

2019 年発行

筑波大学 医学類
